

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
衛星・科学業務委員会(第39回)
議事概要(案)

1 日時

令和6年3月28日(木) 16時から【Web会議形式】

2 議事

- (1) 衛星・科学業務委員会(第38回)議事概要(案)について
- (2) WRC-23の結果概要について
- (3) ITU-R SG4関連会合(2024年1月)の報告書(案)について
- (4) ITU-R SG4及びSG4関連会合(2024年4-5月)への日本寄与文書(案)について
- (5) ITU-R SG4及びSG4関連会合(2024年4-5月)の外国等寄与文書の審議表(案)について
- (6) ITU-R SG4及びSG4関連会合(2024年4-5月)の対処方針(案)について
- (7) その他

3 配付資料

- | | |
|--------------------|---|
| 資料 衛・科-39-1 | 衛星・科学業務委員会(第38回)議事概要(案) |
| 資料 衛・科-39-2 | WRC-23の結果概要 |
| 資料 衛・科-39-3 | ITU-R SG4関連会合(2024年1月)の報告書(案) |
| <u>資料 衛・科-39-4</u> | <u>ITU-R SG4及びSG4関連会合(2024年4-5月)への日本寄与文書(案)</u> |
| <u>資料 衛・科-39-5</u> | <u>ITU-R SG4及びSG4関連会合(2024年4-5月)の外国等寄与文書の審議表(案)</u> |
| 資料 衛・科-39-6 | ITU-R SG4及びSG4関連会合(2024年4-5月)の対処方針(案) |

参考資料1 第29回衛星業務WG結果報告

参考資料2 ITU-R SG4関連会合(2024年4-5月)の開催案内

参考資料3 衛星・科学業務委員会 構成員名簿

参考資料4 WRC-27議題一覧

※ 下線がある配付資料は不開示情報を含むものがあるため、出席者限りの取扱。

4 出席者(敬称略、順不同)

主 査:加藤 寧

構成員:中川 勝広、藍澤 志津、新 博行、伊東 宏之、今村 浩一郎、岡崎 彰浩、神頭 知美、
河野 宇博、佐藤 祐子、篠原 笑子、中間 弘、平松 正顕、廣瀬 幸、山條 朋子

5 議事概要

(1) 衛星・科学業務委員会(第38回)議事概要(案)について

資料 衛・科-39-1に基づき、衛星・科学業務委員会第38回会合の議事概要(案)の確認を行った。特段の意見はなく、承認された。

(2) WRC-23の結果概要

資料 衛・科-39-2に基づき、WRC-23の結果概要について、事務局から説明を行った。特段の意見はなかった。

(3) ITU-R SG4関連会合(2024年1月)の報告書(案)について

資料 衛・科-39-3に基づき、WP4B会合(2024年1月)の報告書(案)について事務局から説明を行った。特段の意見はなかった。

(4) ITU-R SG4及びSG4関連会合(2024年4-5月)への日本寄与文書(案)について

資料 衛・科-39-4に基づき、ITU-R SG7関連会合(2024年3月)への日本寄与文書(案)の検討を行い、以下の議論があった。資料 衛・科 39-4-1及び資料 衛・科 39-4-7については所要の修正を行うことで承認された。これら以外の寄与文書案については、提案のとおりで承認された。

● 資料 衛・科 39-4-1 寄書本文(4A/J-1)

【NTTドコモ新構成員】 寄与文書案の説明時に、この寄与文書の目的は、CPMテキストの検討に資することを説明していたが、英文の寄与文書にもその内容を反映した方が、目的が明確になるかと思うがいかがか。WP4Aの会合にどのようなアクションをしてほしいのかを明確化した方がよいという観点でのコメントである。

【BSAT正源様】 ご指摘のとおりなので、寄与文書の日本語概要及び英文にその旨を追記することとしたい。

● 資料 衛・科-39-4-6 寄書本文(4C/J-4)

【NTTドコモ新構成員】 文書内の図に示されているSea/Airについては、コンセプトとしてはあるとは思いつつ、地上IMTのカバレッジを補完する目的の議題だと考えている。IMT端末が船舶や航空にいるということを示唆しているように見え、余計な議論を招かないか心配する。

【KDDI棟形様】 このシステム自体、補完的なものであるという位置づけとしている。このような位置づけを考えたとき、IMTの基地局がない場所を補完するということが本サービスの対象となると考えており、違和感はないと考えている。

【NTTドコモ新構成員】 この図を入れることで、IMT端末が海上、航空に存在する条件を示唆しており、干渉検討でこのような条件についても求められるのではないかと感じている。

【KDDI棟形様】 ご指摘の点は理解。今後の議論の中で検討が複雑化する場合は、

対象として省く等の対応が必要になるかと思う。引き続き検討したい。

- 資料 衛・科-39-4-7 寄書本文(4C/J-5)

【NTTドコモ新構成員】 ワークプラン内にあるjoint meeting(s)という記載については、joint session(s)とした方が、会合期間の重複部分を利用して共同で会議を行うように見えてよいと考える。

【KDDI棟形様】 session(s)への修正に同意する。

【NTTドコモ新構成員】 ITU-R勧告、報告を作成する点について、会合の場でsupporting materialとすべきという意見が出てくる可能性がある。この寄与文書に基づいて実際の会合でどのように対応することを考えているのか。

【KDDI棟形様】 まずはITU-R勧告、報告の作成を目指すべきと考える。supporting materialは弱いと考える。柔軟に対応はでき、議論の結果として最終的にsupporting materialになるということはある。

【NTTドコモ新構成員】 ITU-R勧告を作成するとした場合、何を勧告するのかという考えは持っておいた方がよい。

(5) ITU-R SG4及びSG4関連会合(2024年4-5月)の外国等寄与文書の審議表(案)について

資料 衛・科-39-5に基づき、ITU-R SG4関連会合(2024年4-5月)の外国等寄与文書の審議表(案)の検討を行った。特段の意見はなく、承認された。事務局から外国等寄与文書の審議表については、日本代表団を中心にITUへの寄与文書提出締切後更新を行い、別途メール検討をする旨を報告した。

(6) ITU-R SG4及びSG4関連会合(2024年4-5月)の対処方針(案)について

資料 衛・科-39-6に基づき、ITU-R SG4関連会合(2024年4-5月)の対処方針(案)の検討を行った。特段の意見はなく、承認された。

(7) その他

事務局から、専門委員に対し、所属の変更等が生じた場合、随時事務局まで連絡するよう報告した。

以上